

# 事業構想の重要性

～経営者ビジョン・企業ビジョン(理想の姿)とビジネスモデル(設計図)を考える～

「人の限界は能力ではなく想像力で決まる」。こう述べたのは、印刷サービスの「ラクスル」の経営者です。印刷業界に印刷シェアリングプラットフォームを作り変革を起こした会社ですが、イメージしたことが革新的な事業となる典型例であり、事業構想が極めて重要であることは証左です。本講座では、**事業構想という設計図(ビジネスモデル)を描くうえでの考え方**を会得します。これができれば、“事業を縦横無尽に想像／創造する”ことが可能になり、また、ニューノーマル時代のSDGsまで実践できるようになります。

## 【こんな方におすすめです】

- ・新規事業担当者
- ・事業承継者
- ・地域活性化を志す方
- ・経営者で事業を継続的に持続発展させたい方

## 【プログラム】

- オープニング/アイスブレイク
- レクチャー
  - ・「経営」とは … 経営の全体最適、自社の総合力、事業コンセプト・事業計画
  - ・「事業構想」とは … 事業コンセプト、事例
  - ・「事業構想」のつくり方 … 経営者ビジョン、企業ビジョン、10年後のグランドデザイン
  - ・「SDGs」とは … 企業がSDGsに取り組むべき理由、実践事例など
- ワークショップ
  - ・自社の「企業ビジョン」を考える
  - ・SDGsも実践できる自社の「ビジネスモデル」を考える
- まとめ

## 【講師プロフィール】

株式会社ビジョン 代表取締役

つぎ もりひさ  
津崎 盛久 氏

一橋大学経済学部卒、英国立レスター大学MBA。  
三菱商事では21年間自動車の国際的なビジネスを担い、東南アジア地域で活躍。海外駐在は10年以上にのぼる。ビジネス・ブレークスルー執行役員(豪BONDMBA統括)においては、日本最大級のMBAに育て上げた。  
2004年に独立。ビジョンスクールを主宰し、主にマネジメント教育/経営コンサルティング事業を展開中。六本木アカデミーヒルズでは、連続11年間・100回超の講義をこなし、トップクラスの実績を誇る。オリジナルのビジョン論/経営理論を駆使して、経営人材、ビジネスパーソン能力を大きく伸ばさせることに定評がある。著書は「花屋のMBA」「絶対にぶれない自分のつくり方」(グラフ社)「道具としての経営理論」(日本実業出版社)など。



開催日

2024年 1月 24日 (水)  
13:00～17:00

会場

アゴラ浜松 6階会議室

(浜松市中区田町322-7 静岡銀行浜松営業部)  
※申込締切後、参加者にご案内をメールします

定員

20名(先着順・1社2名まで)  
※定員になり次第、締切とさせていただきます

受講料

Shizuginship会員企業:無料

申込期限

2024年 1月 16日(火)

こちらのQRコードからも  
お申し込みいただけます



裏面の参加申込書にご記入の上、FAX・メールにてお送りいただくか、Shizuginship会員専用HP等からお申し込みください。

<https://www.shizuginship.com>

お申し込み  
お問い合わせ先



0120-190749



054-344-1681



shizuginship@jp.shizugin.com

株式会社静岡銀行内

Shizuginship事務局

〒424-8677 静岡市清水区草薙北2-1  
受付時間 9:00～17:00(銀行休業日除く)